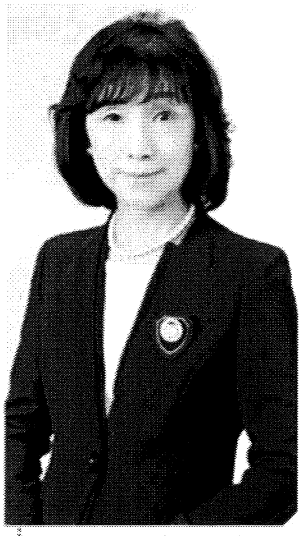
寄稿

女性・女児の夢実現支援

国際ソロプチミストアメリカ
日本南リジョンガバナー
西中　章子



にしなか・しょうこ氏　1995年、国際ソロプチミスト鹿児島に入会。同会長や日本南リジョン理事などを歴任し、2022年7月から現職。夫が経営する学習塾を経営面で支える。10年よりプラザNの運営会社「トゥレーヌ」（鹿児島市）代表取締役。

九州・沖縄8県の奉仕団体「国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョン」のガバナーに7月、国際ソロプチミスト鹿児島の西中章子さん(65)＝鹿児島市＝が就任した。鹿児島県内からの同ガバナー選出は22年ぶり2人目で、任期は2024年6月までの2年間。国際ソロプチミストの取り組みや、ガバナー就任の抱負について寄稿してもらった。

◇

1921年に米国で誕生した国際ソロプチミストのキャッチフレーズは「Investing in Dreams＝夢を応援する」。女性や女児の経済的なエンパワーメント（能力強化）を達成するために必要な教育と訓練を受けるアクセスを提供する、世界規模の奉仕団体です。世界中の五つの連盟に122の国と地域の約3千クラブ、7万人の会員が所属。2021年には創立100周年を迎えました。

私たちの所属する日本南リジョンは、国内に五つあるリジョンの一つで、九州・沖縄8県に88クラブ約1800人の会員が在籍しています。「女性と女児が自分の夢を生きられるよう支援する」という「ソロプチミスト」の使命の下、それぞれのクラブで活動に取り組んでいます。

日本南リジョンの22―24年期のテーマは「Step by Step～輝く未来へ一歩ずつ」です。「教育へのアクセスを通じて50万人の女性と女児を応援する！」という大きなゴールに向かって、さらにリジョンとクラブが結束して未来へつないでいきましょう、という思いを込めました。

国際ソロプチミストが活動の柱に位置づけるのが「夢プログラム」です。家族に対し経済的責任を負う女性に、夢の実現に向けて教育や技能、雇用機会の向上に必要な資金を提供する「夢を生きる＝女性のための教育訓練賞」と、若い女性のリーダーシップを育てる活動「夢を拓く＝女子中高生のためのキャリア・サポート」があります。この二つのソロプチミスト「夢プログラム」は国連で採択された持続可能な開発目標＝SDGsの五つのゴールも推進しています。また、日本南リジョンでは経済的に厳しい家庭環境で進学を希望する女子高校生を応援する「Take One Step進学応援プロジェクト」を実施。31年までの10年間で500人以上の女子高校生を支援するのが目標で、21年度は67人にそれぞれ10万円の支援金を贈りました。各クラブも地域で児童養護施設の新一年生にランドセルや図書などを贈っています。

22年は国際ソロプチミスト設立101年の節目です。新たな世紀が輝かしい未来となるよう、日本南リジョン1800人の会員と世代を超えて力を合わせて新たな取り組みに挑戦し、真摯なる友情、偉業達成の喜びと奉仕の尊さを分かち合い、ともに力強く奉仕の歩みを進めてまいります。